令和７年度
劇場・音楽堂等機能強化推進事業
成果報告書
①（基礎データ・公演事業の実績値等）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人静岡県文化財団
施設名	静岡県コンベンションアーツセンター　グランシップ
内定額	16,488　（千円）

（1）令和7年度　助成対象事業一覧

※実績報告書様式13－2(2)事業内容 から転記してください。
　複数の事業類型（公演・人材・普及）が助成対象となっている場合は、それぞれすべて転記してください。

事業番号	事　　業　　名	実施日程	実施会場
公-01	フランチェスコ・トリスターノ　ピアノ・リサイタル	2025年7月4日（金）	グランシップ
公-02	グランシップ世界のこども劇場2025	2025年8月1日（金）～3日（日）、11（月・祝）	グランシップ 交流ホール・展示ギャラ
公-03	バッハ・コレギウム・ジャパン　J.S.バッハ 管弦楽組曲（全曲）	2025年9月15日（月・祝）	グランシップ 中ホール・大地
公-04	【グランシップ出前公演】 スティーヴ・ガッド　BHGプロジェクト	2025年11月3日（月・祝）	沼津市民文化センター 小ホール
公-05	村田陽一ビッグバンド・ジャズ・オーケストラ	2025年11月15日（土）	グランシップ
公-06	浜松国際ピアノコンクール入賞者コンサート	2025年6月27日（金）	グランシップ
公-07	ヤメン・サーディ　ヴァイオリン・リサイタル	2025年12月11日（木）	グランシップ
公-08	グランシップ静岡能～雛の宴～特別公演	2026年3月14日（土）	グランシップ
公-09	横坂源・上野通明・水野優也・伊東裕　チェロ・カルテット	2026年2月11日（水・祝）	グランシップ 中ホール・大地
公-10	静岡JAM2026	2026年2月23日（月・祝）	グランシップ 中ホール・大地
公-11	グランシップ寄席　～春風亭一朝・春風亭一之輔・春風亭梅朝　親子会～	2026年2月14日（土）	グランシップ 会議ホール・風
人-01	静岡県公立文化施設職員等に向けた人材養成事業　地域×アートマネジメントセミナー	2025年6月3日（火）～9月26日（金）	グランシップ　各会議室他
人-02	グランシップ登録アーティスト事業（第2期）＜研修事業と公演事業（コンサート）＞	2025年4月11日（金）～2026年2月28日（土）	グランシップ、藤枝市民会館
普-01	学校アウトリーチ事業「グランシップ　子どもアート体験！学校プログラム」	2025年6月18日（水）～2026年1月28日（水）	静岡県内各学校
普-02	グランシップ伝統芸能普及プログラム	2025年5月28日（水）～2025年12月5日（金）	静岡県内各学校、グランシップ
普-03	グランシップ　ビッグバンド・ジャズ・フェスティバル2025	2025年8月10日（日）	グランシップ
普-04	グランシップ静岡能　能楽入門公演	2025年9月13日（土）	グランシップ
普-05	「バッハ・コレギウム・ジャパン　J.S.バッハ管弦楽組曲（全曲）」 事前レクチャー	2025年8月30日（土）	グランシップ 会議室
普-06	グランシップ　中高生のためのオーケストラ	2025年11月27日（木）	グランシップ
普-07	こどもたちのための静フィルクリスマスコンサート	2025年11月23日（日・	グランシップ
普-08	静岡大学連携プログラム「グランシップ静岡能」事前レクチャー	2025年12月2日（火）	静岡大学

（2）〔基礎データ〕

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

【1. 事業本数】

項　　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
年間事業本数（※1）	主催事業		44	34	40
		公演事業	19	14	16
		（内、本助成対象事業本数）	0	5	9
		人材養成事業	2	2	2
		（内、本助成対象事業本数）	0	0	2
		普及啓発事業	18	14	18
		（内、本助成対象事業本数）	7	5	7
		共生社会事業			
		（内、本助成対象事業本数）			
		その他　内容：　記入してください	5	4	4

※1　事業の延べ実施回数ではなく、事業本数を記入してください。

【2. 貸館日数】

項　　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
貸館日数	ホールごとの貸館日数		968	947	1,001
	ホール名：大ホール	座席数：最大4,626	169	149	128
	ホール名：中ホール	座席数：760～1,208	206	206	228
	ホール名：交流ホール	座席数：最大400	183	185	218
	ホール名：展示ギャラリー	座席数：0	188	189	210
	ホール名：会議ホール	座席数：最大380	222	218	217

【3. 施設利用者数（事業利用者数）・開館日数・利用可能日数・利用日数・利用率】

項　　目			令和5年度	令和6年度	令和7年度
施設利用者数（※2）	主催事業入場者・参加者数		74,390	94,906	88,074
		公演事業	14,552	10,850	14,536
		人材養成事業	515	287	922
		普及啓発事業	4,224	3,081	6,810
		共生社会事業			
		その他　内容：　美術展、親子向けイベント等	55,099	80,688	65,806
	貸館事業入場者・参加者数		498,373	491,427	658,186
	その他　内容：　記入してください				
	計		572,763	586,333	746,260
開館日数			329	329	329
施設の利用可能日数　（＝365－（保守点検日数+休館日数））			329	329	329
施設の利用日数			329	329	329
施設の利用率(%)　（＝利用日数/利用可能日数）			100.0%	100.0%	100.0%

備考	

※2　実演芸術の公演等を鑑賞する者、ワークショップ等に参加する者、その他の劇場・音楽堂等の事業を利用する者の延べ人数を記入してください。
劇場・音楽堂等のスタッフや、併設施設（美術館、図書館等）のみへの入場者、事業関係者（出演者、指導者、スタッフ等）は除きます。
レジデントカンパニー・アーティストの稽古利用等の場合は「その他」に記入してください。

【4. 公演事業データ】

※ 交付申請書から転記してください。令和7年度について見込み等の暫定値だったものは、確定した数値を記入してください。

※ 実施中止分を含まない実績値を記入してください。

事業種別		事業本数	公演回数	入場者・参加者数	事業本数内訳						
					演劇	音楽	舞踊	伝統芸能	演芸	総合（※3）	その他
令和5年度	主催公演（※1）	19	22	14,552	1	12		2	2		2
	共催・提携公演（※2）	7	8	3,758	1	4		1			1
	貸館公演	67	68	57,127		32	17			10	8
	計	93	98	75,437							
令和6年度	主催公演（※1）	14	23	10,850		11		1	1		1
	共催・提携公演（※2）	9	11	7,494	1	6		1			1
	貸館公演	82	82	52,246	2	25	21			12	22
	計	105	116	70,590							
令和7年度	主催公演（※1）	16	25	17,940	1	13		1	1		
	共催・提携公演（※2）	5	6	3,502		3		1			1
	貸館公演	116	120	196,827	6	36	17		1	13	43
	計	137	151	218,269							

※1 名義主催は除きます。
※2 名義共催を含みます。
※3 「総合」には、フェスティバル等における事業数を記入してください。

（3）各公演事業における実績値 及び 評価項目「創造性・企画性」に関する評価指標・目標（値）・実績（値）

・公演事業について、助成対象事業ごとに目標（値）と実績（値）を記入してください。
・入場者数・入場者率（目標値）は**「交付申請書」**から転記してください。
・有料入場者数・有料入場者率（目標値）および評価指標・目標（値）は**「評価補助シート」**から転記してください。

※有料入場者率（%）の計算方法＝**有料入場者数÷公演の設定席数（実績値）合計×100**

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標（値）	実績（値）
公-01	フランチェスコ・トリスターノ ピアノ・リサイタル	目標値	510	85.0%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上）	93.30%
		実績値	243	40.5%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、25%以上	17%
公-02	グランシップ世界のこども劇場2025	目標値	840	80.0%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上）	96.40%
		実績値	3,593（連携事業参加者374名、ｲﾍﾞﾝﾄ参加者2,784名を含む）	342.1%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、50%以上	48%
公-03	バッハ・コレギウム・ジャパン J.S.バッハ 管弦楽組曲（全曲）	目標値	650	68.5%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上）	99.40%
		実績値	658	69.3%	①当該シリーズのリピーター率	アンケート回答者のうち2回目以上が30%以上	28.50%
公-04	【グランシップ出前公演】 スティーヴ・ガッド BHGプロジェクト	目標値	426	81.0%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が90%以上）	97.80%
		実績値	485	92.2%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、20%以上	54%
公-05	村田陽一ビッグバンド・ジャズ・オーケストラ	目標値	530	88.3%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上）	92.10%
		実績値	551	91.8%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、30%以上	35%
公-06	浜松国際ピアノコンクール入賞者コンサート	目標値	400	66.7%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が90%以上）	100%
		実績値	228	38.0%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、25%以上	24.50%
公-07	ヤメン・サーディ ヴァイオリン・リサイタル	目標値	500	83.3%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階（「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上）	90.10%
		実績値	302	50.3%	①当該シリーズのリピーター率	アンケート回答者のうちリサイタルシリーズ2回目以上が30%以上	84.70%

事業番号	事業名		入場者数	入場者率	評価指標	目標(値)	実績(値)
公-08	グランシップ静岡能～雛の宴～特別公演	目標値	570	64.8%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階(「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上)	97.10%
		実績値	676	76.9%	①当該シリーズのリピーター率	アンケート回答者のうち2回目以上が20%以上	65.50%
公-09	横坂源・上野通明・水野優也・伊東裕　チェロ・カルテット	目標値	500	83.3%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階(「大変よかった」+「よかった」の割合が90%以上)	84.20%
		実績値	629	104.8%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、25%以上	23.60%
公-10	静岡JAM2026	目標値	850	96.9%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階(「大変よかった」+「よかった」の割合が90%以上)	99.10%
		実績値	746	84.8%	①当該公演を目当てに新規で来場した観客数	アンケート回答者のうち、30%以上	44.20%
公-11	グランシップ寄席　～春風亭一朝・春風亭一之輔・春風亭梅朝　親子会～	目標値	320	80.0%	①観客の満足度	アンケートの5段階評価で上位2段階(「大変よかった」+「よかった」の割合が95%以上)	97.60%
		実績値	423	105.7%	①当該シリーズのリピーター率	アンケート回答者のうち2回目以上が30%以上	52.00%

令和７年度

劇場・音楽堂等機能強化推進事業

成果報告書

②（評価）

地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	
団体名	公益財団法人静岡県文化財団
施設名	静岡県コンベンションアーツセンター　グランシップ
内定額	16,488　（千円）

（１）各公演事業の自己評価

「成果報告書①（基礎データ・公演事業の実績値等）」に記載の入場者率・評価指標・実績（値）等に言及しつつ、自己評価と自己評定（※１）を記入してください。

（※１）…S～D で記入してください。

※太枠内に記入してください

事業番号	事業名	自己評価
公-01	フランチェスコ・トリスターノ　ピアノ・リサイタル	観客の満足度は高かったが、来場者数が目標の約半数にとどまった。公演の魅力や聴きどころをより多くの人に知ってもらう取組みに努めたい。
公-02	グランシップ世界のこども劇場 2025	有料入場者数は目標に届かなかったが、評価指標は２つとも達成することができた。
公-03	バッハ･コレギウム･ジャパン　J.S.バッハ 管弦楽組曲（全曲）	評価指標のうち満足度が目標を超えたほか、入場者数、リピート率はいずれもほぼ目標値となった。
公-04	【グランシップ出前公演】 スティーヴ･ガッド ＢＨＧプロジェクト	チケットが完売となったことに加えて、評価指標は２つとも目標を大幅に超えた。
公-05	村田陽一ビッグバンド・ジャズ・オーケストラ	入場者数が目標を超えたほか、評価指標のうち、新規来場者率が目標を達成した。
公-06	浜松国際ピアノコンクール入賞者コンサート	２つの評価指標のうち、来場者アンケートによる観客の満足度は 100％となり、新規来場者率も概ね目標通りだった。
公-07	ヤメン・サーディ　ヴァイオリン・リサイタル	評価指標のうち、リピーター率が目標を大幅に上回ったが、入場者数が目標に届かなかった。
公-08	グランシップ静岡能～雛の宴～特別公演	入場者数、２つの評価指標とも目標を上回る結果となった。
公-09	横坂源･上野通明･水野優也･伊東裕　チェロ･カルテット	来場者アンケートによる観客の満足度は目標に届かなかったが、入場者数、新規来場者率いずれも目標を達成した。

公-10	静岡 JAM2026	２つの評価指標はいずれも目標を大幅に上回る結果となった。初めての来場者が多かったが、高い満足度が得られた。
公-11	グランシップ寄席　～春風亭一朝･春風亭一之輔･春風亭梅朝　親子会～	チケットが完売となったことに加えて、評価指標は２つとも目標を大幅に超えた。

※行が足りない場合は適宜追加してください。

（2）自己評価

評価項目①：創造性・企画性

（※1）…S～D で記入してください。

評価の観点	・（企画力）地域の状況と芸術性とのバランスが取れた、特色ある事業計画である。 ・（制作力）優れたアーティストやスタッフ等が才能や技能を発揮し、高い水準の作品制作や各種事業が行われている。 ・（発信力・影響力）圏域内外の実演芸術を牽引する成果が期待できる。 ・（レジデントカンパニー・アーティスト）当該劇場を創造拠点又は準拠点とする実演芸術団体やアーティストを擁する。
・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

	評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
公演事業	① 観客満足度 ② 劇場友の会の会員数 ③ 劇場への支持、信頼度	① 全事業の 8 割で、観客満足度の目標達成 ② 前年度より 500 人増 ③ アンケートで「今後も来場したいか」の質問に「はい」と回答する人が平均で 90%以上	① 11 事業のうち 10 事業で目標を達成。 ② 令和 6 年度末時点での友の会会員数が 16,722 人だったところ、令和 7 年度末で 21,654 人で 4,922 人増え、目標を達成。 ③ 11 事業のうち、7 事業で今後の来場希望 100%となり、全事業の平均も 99.6%と非常に高かった。
人材養成事業	① 育成対象者の研修後の反応 ② 指導者による評価	① アンケートで高評価を得る（「今後に役立つか」などの質問で、「大変役立つ」、「役立つ」が 90%以上） ② 公演制作やアーティストの指導の講師より高評価を得るとともに、成果と今後の課題を明確にする	① 人 - 01：96.7% 人 - 02：93.3% ② 人 - 01、02 いずれも講師とは事業趣旨、目指すべき将来像を共有し、事業への協力を得ており、それぞれの成果と課題も明確にしている。
普及啓発事業	① 全事業の参加者数 ② 学校等、館外での受入先による評価 ③ 参加者の反応 ④ 教育機関と連携事業における担当教員のコメント収集	① 8 事業中、4 事業で目標参加者数を達成。 ② また実施してもらいたいとの回答が 80%以上 ③ アンケート回答者の 80%以上が「また参加したい」と回答 ④ 年間 20 件以上	① 8 事業のうち 4 事業で目標参加者数を達成。 ② 対象事業におけるアンケートでの再実施希望 99% ③ 対象事業におけるアンケートでの参加希望 98% ④ 434 件
共生社会事業			

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、事業類型ごとに太枠内に自己評価を記入してください。

公演事業	
自己評価	来場者アンケートによる満足度は事業全体で 95%と非常に高かった。 友の会会員が昨年度より約 5,000 人増加し、公演事業への期待の高さを実感した。 公‐04【グランシップ出前公演】スティーヴ・ガッド　BHG プロジェクト、公‐11 グランシップ寄席～春風亭一朝・春風亭一之輔・春風亭梅朝　親子会は完売となったほか、公‐08 グランシップ静岡能～雛の宴～特別公演、公‐10 静岡 JAM2026 は目標を超える来場者があり、長年の取組みによるリピーターと新しい取組みによる新規来場者を得ることができた。

人材養成事業	
自己評価	人‐01 静岡県公立文化施設職員に向けた人材養成事業　地域×アートマネジメントセミナーは、前年度の実施内容を踏まえて、経験年数に合わせた必要な知識や情報の獲得と参加者同士の横の繋がりを図ることを目的に、研修参加の敷居を下げ、間口を広げたことにより、参加者数が R6 年度 73 名から R7 年度 84 名と増加したが、より多くの参加が課題となっている。また、県内施設職員からファシリテーターや講師を務める人材を養成する将来像を掲げ、県全体の施設職員のレベルアップを目指す。 人‐02 グランシップ登録アーティスト事業（第 2 期）＜研修事業と公演事業（コンサート）＞では市内のこども食堂へのコンサートを初めて実施したほか、グランシップ内でのロビーコンサートも行い、登録アーティストの周知と活動の場の拡充を図った。誰もが文化芸術に触れる機会を得られるよう、地域で活動するアーティストがアウトリーチ人材として活躍する仕組みを県内全域で展開することが課題となっている。

普及啓発事業	
自己評価	目標はすべて達成することができた。普‐01 学校アウトリーチ事業「グランシップ　こどもアート体験！学校プログラム」と普‐02 グランシップ伝統芸能プログラムは、全県域に渡って事業を実施しており、前年度から実施数は増加したが、学校からの希望すべてに対応できていない状況であるため、引き続き改善に努めたい。

共生社会事業	
自己評価	

（２）自己評価

（※１）…S～D で記入すること。

評価項目②：国際性（任意）

評価の観点	・(国際プレゼンスの向上) 海外の劇場やフェスティバル、実演芸術団体等と連携し、国際共同制作や海外作品の招聘等に取り組んでいる。 ・(国際交流) アーティストや文化芸術関係者の招聘等、人的交流や情報交換が行われている。 ・(新たな創客への取組) 在住外国人や訪日外国人に向けて文化芸術体験の機会を提供する等、グローバルな視座で創客に取り組んでいる。	
	・自由設定の観点（任意）（※２）	

（※２）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※３）	目標（値）（※４）	実績（値）
①　海外の作品を招聘する国内フェスティバルと連携し、海外作品や海外の芸術家を招聘する公演数	①　公演事業、普及啓発事業合わせて５本	①　５本
②　観客の反応	②　アンケートにて海外作品、海外のアーティストの公演を「また見たい」と回答する人が 70%以上	②　100%
③　在日外国人や国際交流協会との連携により外国人が来場する公演数（国際交流協会等の団体と連携し、在住外国人の子どもや家族を連れてグランシップ公演に来場することを働きかける。劇場を通して在住外国人の子どもの体験機会の創出や社会包摂の一助とし、新たな創客への取組とする。）	③　公演事業、普及啓発事業合わせて２本	③　３本

（※３）・（※４）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	公‐02「グランシップ世界のこども劇場 2026」で沖縄県で開催される「りっかりっかフェスティバル」と連携し、ベルギーのカンパニーによる作品を招聘したほか、海外の芸術家が出演する公演を４公演実施した。いずれの公演も来場者アンケートでは海外作品、海外アーティストの公演をまた見たいとの回答が 100%となり、今後の公演への期待の高さを再認識した。 普‐02「伝統芸能普及プログラム」で実施した文楽・浪曲・講談の各大学レクチャー、普‐08「静岡大学連携プログラム『グランシップ静岡能』事前レクチャー」では、近隣大学に通う留学生の参加があった。また、普‐06「中高生のためのオーケストラ」では夜間中学である「静岡県立ふじのくに中学校」に通う在日外国人の生徒が参加した。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目③：地域文化拠点機能

評価の観点	・(文化拠点) 地域の特性やニーズを踏まえ、地域の文化資源を活用するなど、地域の文化拠点として事業が組み立てられている。 ・(地域連携) 地域の関係機関と連携・協力し、地域コミュニティの創生や社会課題の解決等に取り組んでいる。 ・(児童生徒への機会提供) 次代を担う子ども達を対象とした鑑賞や体験事業が行われている。	
	・ホール利用サービス（貸館事業）の向上（任意）（※2）	
	・自由設定の観点（任意）（※3）	

（※2）・（※3）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※4）	目標（値）（※5）	実績（値）
① 市民ボランティアの登録数	① 前年度比 15 人増	① R6 年度末 110 人 ⇒R7 年度末 118 人　8 人増
② 連携する教育機関（小学校、中学校、高校、大学、特別支援学校）の事業本数	② 前年度比 3 校増	② R6 年度末 19 校 ⇒R7 年度末 22 校　3 校増
③ 教育機関との連携事業において、担当教員のコメントを収集	③ 年間 20 件以上	③ 年間 434 件
④ 中高生鑑賞プランの利用人数	④ 前年度比 110%以上	④ R6 年度 4,531 人 ⇒R7 年度 1,329 人 前年度比 29.3%
⑤ 中高生鑑賞プランに伴う交通費支援の利用人数	⑤ 前年度比 110%以上	⑤ R6 年度 3,434 人 ⇒R7 年度 1,152 人 前年度比 33.5%
⑥ 劇場友の会の会員数	⑥ 前年度より 500 人増	⑥ R6 年度 16,722 人 ⇒R7 年度 21,654 人 前年度より 4,932 人増
⑦ 貸館利用者の満足度	⑦ 利用者アンケートで「満足」「ほぼ満足」が 80%以上	⑦ 設備・備品満足度 88% スタッフ対応満足度 89%
⑧ 地域文化拠点として、静岡県ゆかりのアーティストを活用し事業を実施	⑧ 静岡県ゆかりのアーティストが参加する事業を、公演事業、普及啓発事業合わせて 10 事業以上実施	⑧ 公演事業：6 事業 普及啓発事業：5 事業 合計：11 事業

（※4）・（※5）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

成果報告書　　静岡県コンベンションアーツセンター　グランシップ

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	指標①は新規登録希望者が 27 人あったが、辞退者が 19 人いたため、差し引き 8 人増となった。 指標④・⑤は普‐06「グランシップ　中高生のためのオーケストラ」の開催日が、県内中学 3 年生の学力調査テストと重なったため、参加・利用者数が減少したが、通信制高校や特別支援学校等からの申込みも受付け、若い世代の劇場での鑑賞機会拡充を図った。 指標②連携する教育機関、及び⑥劇場友の会の会員数は増加しており、地域に根差した劇場としての役割を果たしている。また、指標⑧の「静岡ゆかりのアーティストの活用」を継続して実施することで、県民が地域の魅力を再認識し、シビックプライドを確立する一助となった。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目④：多様性とアクセシビリティ

評価の観点	・（プログラムの多様さ）プログラムの種類や形態が多様で、幅広い観客や参加者に訴求する。 ・（参画者の多様さ）アーティストやスタッフとして参画する人々の属性（性別、年代、居住地、他）が多様である。 ・（アクセシビリティ）障がいの有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状況等に関わらず、あらゆる人々と実演芸術をつなぐため、施設の構造・設備上の配慮、プログラム上の創意工夫やサポート、アウトリーチ等が行われている。
・自由設定の観点（任意）（※2）	

（※2）…R7 年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）
① 28 歳以下の学生料金（1,000 円）の利用者数	① 5,000 人以上	① 3,215 人
② 障害者に対する情報保護の利用数	② 字幕タブレット、字幕表示等の実施 2 件以上	② 公‐08 における字幕タブレットの貸出 対象外事業における字幕表示の実施 2 件　計 3 件で実施
③ ひとり親家庭の子どもと保護者の公演招待	③ 公演事業、普及啓発事業合わせて 5 事業以上	③ 公演事業、普及啓発事業合わせて 10 事業で実施
④ アウトリーチ事業の実施数と地域	④ 静岡県内全域（伊豆・東部・中部・西部）に渡り 10 か所以上	④ 対象外事業も合わせて伊豆、東部 7 ・中部 5 ・西部 9 合計 21 カ所で実施

（※3）・（※4）…R7 年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	指標①は目標値を達成できなかったが、その他の指標は目標を達成することができた。指標②に掲げている字幕タブレットや字幕表示は主に伝統芸能公演で実施しているが、「理解が深まる」と利用者に好評を得ており、今後も継続して実施したい。指標③のひとり親家庭の招待は昨年度から継続して実施しているが、利用者数が増加するとともに、静岡県東部や西部からの申込もあり、グランシップの認識を高めることもできた。指標④のアウトリーチ事業は目標を達成しているが、より多くの学校の希望に応えられるよう、今後も改善を図っていく。

（2）自己評価

（※1）…S～D で記入すること。

評価項目⑤：自由設定（任意）

評価の観点	①　創造性・企画性、②国際性、③地域文化拠点機能、④多様性とアクセシビリティ、⑥運営体制と持続可能性　の項目では成果や課題に言及しきれない事柄について、自己評価を行ってください。（※2）
	・ ・ ・

（※2）…R７年度評価補助シートにて設定している場合は転記すること。

評価指標（※3）	目標（値）（※4）	実績（値）

（※3）・（※4）…R７年度評価補助シートから転記すること。

・評価指標と目標（値）及びその達成度に言及しながら、太枠内に自己評価を記入してください。

自己評価	

（2）自己評価

その他：エピソードやグッドプラクティス事例について

助成対象事業に関連して、心に響くような印象的な出来事や、他館の参考になるような好事例があれば、具体的にご記入ください。
公‐02 世界のこども劇場で実施した「ちいさな、たね」では、出演カンパニーの厚意により、終演後来場した演劇を学ぶ地元県立高校の学生たちとの交流の時間が設けられ、学生たちにとって貴重な機会となった。 普－06 グランシップ中高生のためのオーケストラは、開催日が静岡県内の公立中学校３年生が受ける学力調査テストと重なり参加者が当初の目標を大幅に下回ったが、通信制高校や特別支援学校からの申込みも受付けて開催した。 人数が少なかった分、来場する特別支援学校生との障害の状況や使用する車いすのサイズ等の確認と対応ができたことで、きめ細やかな配慮が可能となった。演奏した富士山静岡交響楽団とも事前に参加校の情報を共有し、滞りなく公演を実施することができ、教員からは学生たちにとって貴重な経験となったとの感想を得た。 いずれも、グランシップが地域の教育機関や関連団体と良好な関係性を構築し、文化芸術のすそ野を広げる事例と認識している。

（2）自己評価

評価項目⑥：運営体制と持続可能性

（※1）・（※2）…R7年度評価補助シートから転記すること。

※太枠内に記入してください

○「実現性」の項目より〈(ア）～（エ)〉

評価の観点	（ア）多様な財源の確保 予算計画が妥当であり、事業収入のほか、各種助成金や寄附金・協賛金等の獲得に努めている。	（イ）広報・営業力 広報計画が充実しており、券売や集客、会員制度等の拡充に努めている。
現状（※1）	令和 6 年度より開始した県内企業による協賛制度を継続し、普及事業や子どもたちの社会環境に左右されない体験機会に取り組んでいる。	広報･営業を担当するグループを設け、券売、広報、会員増に努めている。
目標(値)（※2）	6社／4,000,000円	
実績(値)	3社／2,000,000円	
団体の自己評価	協賛の取組みに理解を得て目標を達成するように引き続き努力する。	広報･営業グループが券売、広報、友の会会員増に取り組み、集客・会員増の目標を達成した。

評価の観点	（ウ）他館連携 他の劇場･音楽堂等との事業連携や協力･支援を通じて、効果的で効率的な事業運営を行っている。	（エ）設置者 円滑な事業の継続のため設置者と適切に意思疎通を図っており、設置者による人材や財源の確保等が期待できる。
現状（※1）	県内外の劇場と連携し、効率的な事業運営、広い視野を持って運営している。	設置者と常に連携しながら、事業運営を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	人‐01の研修実施や公‐04の出前公演等による県内文化施設との連携、公‐02のような県外関係機関との連携による事業を実施している。	設置者との連携による事業運営や人事交流を実施している。

○「持続可能性に関するチェックシート」より〈(オ）～（セ)〉

評価の観点	（オ）芸術監督 芸術監督等、劇場運営の芸術面を統括する人材が配置されている。	（カ）長期的経営 長期的視点に立ち、劇場運営を統括する、経営実務者が配置されている。
現状（※1）	宮城聰館長、企画事業の立案・実施によるアドバイザー2 名を配置し、文化事業を担う職員の専門性も高めている。	経営責任者となる専務理事兼事務局長が常勤し、中長期的な視点のもと、財団運営、劇場運営を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	宮城聰館長のほか、音楽・伝統芸能各分野のアドバイザー２名を配置し、事業を検討し実施することで、職員の専門性も高めている。	経営責任者となる専務理事兼事務局長が館の支配人として常勤しており、中長期的な視点のもと、財団運営、劇場運営を行っている。

評価の観点	（キ）専門人材の確保 今日的な劇場運営に必要な職能や専門性を踏まえ、運営体制が整備されている。あるいは専門人材の確保や育成に努めている。	（ク）職制の整理 芸術監督、館長、支配人、プロデューサー、その他管理職の職位及び職能、一般職員の職務内容等が専門性を基に整理され、役割分担されている。
現状（※1）	文化事業を担うセクションにおいて、当劇場以外の県内市町の会館における人材育成研修に取り組んでいる。	グランシップ館長、支配人、アドバイザーを配置し、各職員も専門性を生かした役割分担を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	人‐01 の人材養成研修を継続して実施しており、当劇場の職員に加えて地域の専門人材の確保や育成に努めている。	グランシップ館長、支配人、アドバイザーを配置しているほか、キャリアパス制度を設けることで、各職員の希望を活かし専門性を育成する役割分担を行っている。

評価の観点	（ケ）世代間バランス 年齢バランスを考慮した人材確保を行っている（若年層の雇用に努めている）。	（コ）ジェンダーバランス 女性管理職比率が 30%以上である。あるいは、女性の管理職やリーダー職への登用に努めている。
現状（※1）	長期・短期のインターンシップの実施、計画的な採用制度を実施し、人材確保に努めている。	女性職員が多く、プロパーの女性管理職の実績がある。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	インターンシップ経験者が採用に応募し、実際に採用される例が出てきており、取組みが好循環になっている。	女性職員が多く、プロパーの女性管理職の実績がある。

評価の観点	（サ）ワークライフ・バランス 仕事と育児・介護等の両立支援制度を整備し、推進している。	（シ）コンプライアンス順守 情報セキュリティをはじめ、各種コンプライアンスの順守規定を策定し、必要な研修を行っている。
現状（※1）	仕事、育児・介護を両立させる制度が充実し、勤務シフトや休暇も柔軟に対応できる制度がある。	情報セキュリティやコンプライアンスの順守規定を策定し、運用している。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	仕事、育児・介護を両立させる制度が充実しており、勤務シフトが 7 種類あるほか休暇制度も自由度が高く、実際に活用されている。	情報セキュリティやコンプライアンスの順守規定を策定し、運用している。

評価の観点	（ス）ハラスメント防止対策 職場内及び創作現場におけるパワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針等を策定・周知し、必要な研修を行っている。	（セ）適正な契約事務 アーティストやスタッフと適正な契約書を交わしている。
現状（※1）	パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針や相談窓口を設置している。	全ての業務について、契約書等文書で取り交わし、健全な会計業務を行っている。
目標(値)（※2）		
実績(値)		
団体の自己評価	パワー・ハラスメント、セクシュアル・ハラスメント等防止のための指針や相談窓口を設置している。	全ての業務について、契約書等文書で取り交わし、課内・管理部門の複数チェックにより、健全な会計業務を行っている。

（3）総評

※太枠内に記入してください。

団体の自己評価
・グランシップのミッションである「鑑賞機会の提供」「社会包摂・国際文化交流」「地方の県立劇場としての存在意義」を踏まえ、公演事業、人材養成事業、普及啓発事業いずれも、目標に届かない部分もあったが、概ね当初の目標を達成することができた。 ・公演事業では目標入場者数を大幅に超える事業やチケットが完売する事業もあり、どの事業の満足度も高かった。静岡ゆかりの出演者など、静岡の要素を含んだ公演を実施することで、地域への愛着を高めることも目指しているが、一部の事業では入場者数が目標に達しなかったため、今後の広報における課題と認識している。 ・人‐02 グランシップ登録アーティスト事業（第 2 期）＜研修事業と公演事業＞は、地域で活躍するアーティストの育成と活躍の場の拡充を目指し、ロビーコンサートや市内のこども食堂でのコンサートを実施したほか、県内文化施設と協働し、藤枝市民会館でのコンサートを、会館のニーズに沿ったこども向けコンサートとして開催した。また令和 6 年度末に「登録アーティスト紹介 BOOK」を作成し、県内文化施設等に配布し、登録アーティストの取り組みを紹介したことで、令和 7 年度に県内の地域交流センター等から登録アーティストへの演奏依頼があるなど、地域とアーティストを繋げる活動も行った。 ・普‐01 学校アウトリーチ事業「グランシップこどもアート体験！学校プログラム」、普‐02 グランシップ伝統芸能普及プログラムは、東西約 160 ㎞、南北約 180 ㎞と広い静岡県内において、西部・中部・東部で隔たりが生じないように開催した（西部 42%・中部 21%・東部 37%）。　普‐07 こどもたちのための静フィルクリスマスコンサートは、用意した未就学児用整理券 500 枚が早々になくなり、小さなこどもと気兼ねなく音楽を楽しみたい家族の希望に応える事業となった。

備考